

京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

(5年計画の5年目)

1. 研究課題

東方文化学院京都研究所旧蔵漢籍の整理と研究

A Bibliographic Research on Old Chinese Books Previously Housed in the Kyoto Institute of the Academy of Oriental Culture

2. 研究代表者氏名

矢木 毅

Yagi, Takeshi

3. 研究期間

2016年4月-2021年3月(5年目)

4. 研究目的

東方文化学院京都研究所は1929年に外務省の助成により設立された。今日の人文科学研究所東方学研究部（東アジア人文情報学研究センター）の前身である。旧蔵の漢籍はすべて東方学研究部に継承されており、その内容は『東方文化学院京都研究所漢籍目録』（1938年）によって詳細に知ることができる。なかでも天津の蔵書家・陶湘の旧蔵書、特に叢書を多く含むことで学術的にもその価値が高い。本研究班はこの目録に掲載された漢籍の書誌情報を再吟味し、これに詳細な典拠情報を加えることによって、現行の電子目録（KANSEKI）の情報精度をさらに向上させることを目的とする。序跋等のテキスト・データを含めた典拠情報は逐次インターネットを通して発信し、蔵書印については図録を作成して刊行する。来るべき90周年、100周年の節目に向けて、近代東アジアにおける学知の原風景を探り、学術史の再構築を図るための展示会、企画展なども開催したい。

The Kyoto Institute of the Academy of Oriental Culture was established in 1929 using a grant-in-aid from the Ministry of Foreign Affairs of Japan, and it has hence developed into the Department of Oriental Studies of the Institute for Research in Humanities, Kyoto University. The Institute has inherited all the old Chinese books that were once housed in the old one, and the details of the collection can be seen in the Catalogue of the Old Chinese Books housed in the Kyoto Institute of the Academy of Oriental Culture, published in 1938. This collection is well known and is highly valued in the academic world, particularly because it contains a series of books that were once housed by Tao Xiang, a famous

bookkeeper in Tianjin, China. Our research project reexamines the information in the Catalogue and attempts to enhance the accuracy of the KANSEKI database, an online catalogue based on the Catalogue. The project involves the creation of an additional database on the prefaces and postscripts of the books. It will also involve the collection of information about Ex-libris Ownership Stamps and their publication in pictorial books. In the near future, as part of the celebrations of the 90th and 100th anniversaries of the institute, exhibitions will be held with the objective of reviewing and restructuring oriental studies in Japan.

5. 本年度の研究実施状況

毎週水曜日、14時より16時まで。(4月中は休会。本年度はオンラインで開催)。前期は5月13日より7月29日まで(計12回)。後期は10月14日より2月3日まで(計15回)。通年で27回開催。本年度は集部別集類の漢籍を検討した。毎回の検討の成果は「典拠情報」としてまとめ、「全国漢籍データベース」にリンクさせた形でウェブ上に公開している。なお、関連する成果として『京大人文研蔵書印譜(四)』と題する図録(東方学資料叢刊第28冊)を東アジア人文情報学研究センターより刊行し、リポジトリ「紅」においても公開した。

6. 本年度の研究実施内容

2020-05-20	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	矢木毅
2020-05-27	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	矢木毅
2020-06-03	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	矢木毅
2020-06-10	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	宮宅潔
2020-06-17	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	宮宅潔
2020-06-24	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	宮宅潔
2020-07-01	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	宮宅潔
2020-07-08	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	高井たかね
2020-07-15	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	高井たかね
2020-07-22	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	高井たかね
2020-07-29	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	高井たかね
2020-10-14	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	永田知之
2020-10-21	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	永田知之
2020-10-28	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類南宋之属	発表者	永田知之
2020-11-04	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類金元之属	発表者	福谷彬
2020-11-18	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類金元之属	発表者	福谷彬
2020-11-25	東方文化学院京都研究所漢籍目録	集部別集類金元之属	発表者	福谷彬

2020-12-02 東方文化学院京都研究所漢籍目録 集部別集類金元之属 発表者 藤井律之
2020-12-09 東方文化学院京都研究所漢籍目録 集部別集類金元之属 発表者 藤井律之
2020-12-16 東方文化学院京都研究所漢籍目録 集部別集類金元之属 発表者 藤井律之
2020-12-23 東方文化学院京都研究所漢籍目録 集部別集類金元之属 発表者 古松崇志
2021-01-08 東方文化学院京都研究所漢籍目録 集部別集類金元之属 発表者 古松崇志
2021-01-15 東方文化学院京都研究所漢籍目録 集部別集類金元之属 発表者 古松崇志
2021-01-22 東方文化学院京都研究所漢籍目録 集部別集類金元之属 発表者 宮宅潔
2021-01-29 東方文化学院京都研究所漢籍目録 集部別集類金元之属 発表者 宮宅潔
2021-02-03 東方文化学院京都研究所漢籍目録 集部別集類金元之属 発表者 宮宅潔

7. 共同研究会に関連した公表実績

京大人文研蔵書印譜（一）（東方学資料叢刊第 16 冊、2008 年、漢字情報研究センター） 京大人文研蔵書印譜（二）（東方学資料叢刊第 21 冊、2016 年、東アジア人文情報学研究センター） 京大人文研蔵書印譜（三）（東方学資料叢刊第 25 冊、2018 年、東アジア人文情報学研究センター） 京大人文研蔵書印譜（四）（東方学資料叢刊第 28 冊、2020 年、東アジア人文情報学研究センター） 朝鮮本十選（東方学資料叢刊第 22 冊、2016 年、東アジア人文情報学研究センター） 排印本十選（東方学資料叢刊第 23 冊、2017 年、東アジア人文情報学研究センター） 字書十選（東方学資料叢刊第 27 冊、2019 年、東アジア人文情報学研究センター）

8. 研究班員

所内

矢木毅、永田知之、宮宅潔、古松崇志、高井たかね、藤井律之、福谷彬、瞿艶丹

学内

道坂昭廣(人間環境学研究科)

9. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	機関数 (必須)	受入人数					延べ人数				
		総計	外国人	若手研究者 (40歳未満)	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	総計	外国人	若手研究者 (40歳未満)	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)	1	2	1	2	2	0	54	27	54	54	0
		(1)	(1)				(27)	(27)			
国立大学											
公立大学											
私立大学											
大学共同利用機関法人											
独立行政法人等公的研究機関											
民間機関											
外国機関											
その他											
計	1	2	1	2	2	0	54	27	54	54	0
		(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(27)	(27)	(0)	(0)	(0)

10. 本年度 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数

なし

11. 次年度の研究成果公表計画および今後の展開等

次年度より新規に「東方文化研究所旧蔵漢籍の整理と研究」班を組織し、引き続き序跋・蔵書印等の調査・研究を進める。